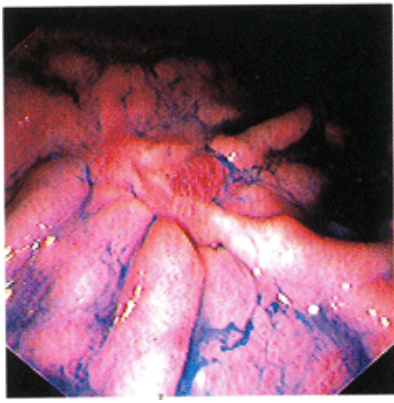


内視鏡による胃がん検診

4月より胃がん検診に内視鏡検査がとりいれられます。

1. がんか、がんでないか

この新聞の最初に書きましたように、これまで私がやって来た胃の検査は逆流性食道炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍の様に症状の強い病気の他は胃がんかどうかが主な検査対照でした。症状のない人でがんがなければOKだったのです。それに対してこれから始めようとしている検診は、何も症状を出していない胃でも、その胃ががんになりやすいか、なりにくいかを判断するために検査をするのです。

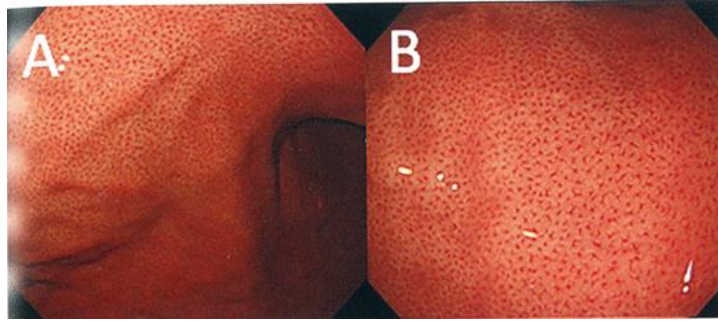


早期胃がん



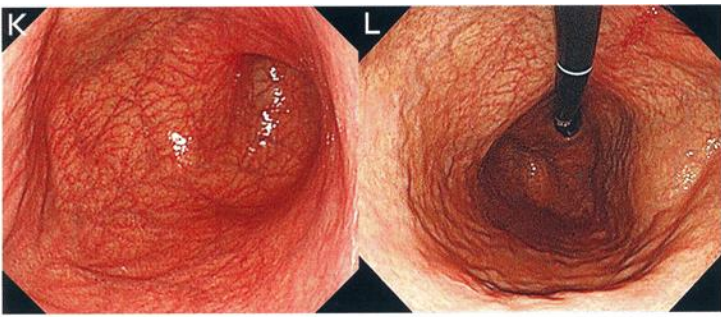
2. どうなるとがんになりやすいか

胃がんの発生には胃内細菌ヘリコバクターピロリの感染が重大な意味を持つことが分かっています。

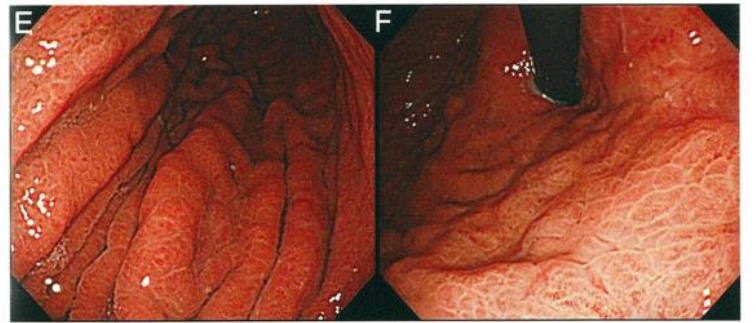


A群：ヘリコバクター・ピロリ未感染の胃底腺

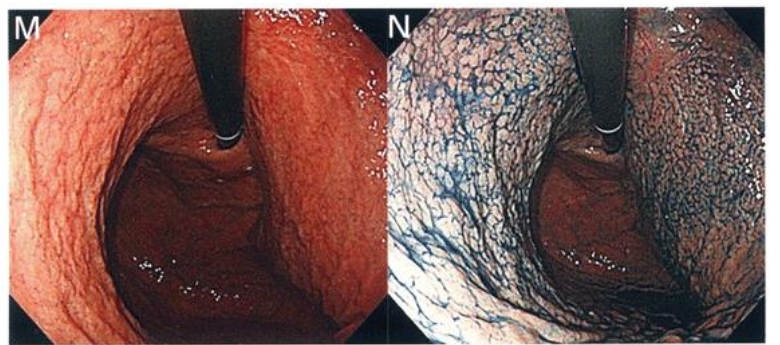
A群・ヘリコバクター・ピロリ未感染(健常群)、B群・ヘリコバクター・ピロリ感染による軽度萎縮性胃炎群、C群・高度萎縮性胃炎群、D群・化生性胃炎群



C群：萎縮



B群：浮腫状粘膜



D群：腸上皮化生

B群からD群までヘリコバクター・ピロリにやられ、その程度が次々に進んでいるということです。D群は前がん状態といわれています。A群のメリハリある胃粘膜もしだいにのっぺりとしてしまい全体に薄くなってしまう。D群はその上に大小不同の白っぽい隆起が観察されるようになります。



院長

1月・2月の休診日

休診 日曜・祭日
午後休診 水曜・土曜



E・メールを送って下さい。
norikazu@okutu.jp

院長誕生日



みなさんの質問や投稿をお待ちしております。
☆受付けからのお願い
月初めには必ず保険証を受付にお出し下さい。
診察券は毎回お持ち下さい。
☆編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。